

単元まるごと計画「きみはだれ？」（全5時間）

単元のゴール（can-do）：まとまった英語の話を聞いておおよその内容がわかる楽しさを味わい、Who are you? — I'm a ○○. のやり取りに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	動物や体の部位の言い方と、Who are you? / I'm a ○○. のやり取りに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	ヒント（体の部位）を手がかりに、だれがかくれているかを考えながら聞き、たずね合っている。
主体的に学習に取り組む態度	劇遊びで自分の役になりきって、すすんでやり取りしようとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全5時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	—	どうぶつのことばと出会う・なりきりチェーン①	歌＋カードフラッシュ	記録なし
2	—	体の部位のことば（long ears など）・しっぽクイズ①	チャンツ（Who are you?）	記録なし
3	—	しっぽクイズ②（子どもが出題）・かくれんぼの話を聞く	チャンツ	記録なし
4	—	ミニげき「もりのかくれんぼ」練習（役きめ・グループ練習）	チャンツ	◎ 行動観察（見取りメモ）
5	—	ミニげき発表会（グループごと）・1年のふりかえり	歌	◎ 振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌・チャンツ	—（Let's Try!付属音源）
5-12	どうぶつカードで練習	どうぶつカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. 劇の小道具（お面など）は「カードを首から下げる」で十分（図工の時間が取れるときだけお面に）
- 2. しっぽクイズの子ども出題（第3時）はカットして先生出題のままでもよい
- 3. 発表会は1グループ1分・入退場込みで回す（あいさつの練習は省く）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ どうぶつカード（提示用1部+班に1セット）
- ☐ 活動シート1・3（人数分）+シート2（先生用・1部）
- ☐ 劇の役カード（どうぶつカードを首下げひもに通すだけ）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・劇のせりふは「1人1文」が基本。せりふを言うのが難しい子は、鳴き声・ジェスチャー担当や「ナレーターと一緒に言う」役で必ず舞台上に乗せる
- ・なりきりが恥ずかしい年ごろの子には「ナレーター」「音係（ドンドンと机をたたく）」の役を用意（全員に役がある、が原則）
- ・聞くことが中心の単元なので、発話の少ない子の「聞けている反応」（笑う・ふり向く・指さす）を評価のメモに残す

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・「全部わからなくても、だいたいわかれば楽しい」を体験させる単元。日本語で逐語訳をつけないこと（絵とジェスチャーで話の外形をつかませる）
- ・Who are you? は「たずねる→かくれている側が答える」の非対称なやり取り。かくれんぼの状況設定が、この形の意味を説明なしで教えてくれる
- ・劇の質は求めない。声が出た・役になりきれた・友だちの劇で笑った、が全部成果。ビデオに撮って3学期の保護者会で流すと1年の成長が伝わる
- ・◎見取りは第4時の練習中（本番は進行で手一杯）。「役のことばを言おうとしているか」を班をまわって記録